

いよいよ追い込みの時期。何事にも全力で取り組もう！

朝晩はだいぶ冷え込む日が増し、教室から臨む木々もしだいに赤や黄色に色づいてきました。学習や運動に最適の季節となりました。3年生においては、95名が受験する「大学入学共通テスト」まで約2ヶ月となりました。また、大学から専門学校まで83名が挑戦する学校推薦型選抜の入試は、今月がピークとなります。いよいよ受験期となり、これからの数ヶ月の過ごし方次第で皆さんの進路が大きく左右されます。全力で頑張ってください。1・2年生は、現学年の成績や文理選択・コース選択に繋がる大切な行事が続きます。この11月がそれぞれの学年や高校生活の中でどのような意味を持つかを認識し、真剣に授業に取り組むとともに、毎日の生活パターンや時間の使い方、学習習慣を見直してください。各学年ともいよいよ「まとめ」と「追い込み」の時期です。今までに蓄えた力を発揮し、目標を持って充実した毎日を過ごしましょう。

《11月の進路関係行事》

2日(土)	漢字検定 ベネッセ駿台共通テスト模試(3年)
6日(水)	進研模試(1・2年)
15日(金)	進路ガイダンス(2年)
16日(土)	河合塾全統プレ共通テスト模試(3年)
19日(火)	進路学習調査②
21日(木)	公務員講座⑦(1・2年)
28日(木)～12/2(月)	定期考査IV



★ 就職・公務員試験について

9月半ばから始まった、学校推薦による民間企業の入社試験において、10月末現在10名が内定を得ています。
(五十音順)

企 業 名	企 業 名
茨城電設株式会社	トヨタカローラ南茨城株式会社
株式会社シムックス	日立建機株式会社土浦工場(4)
株式会社JR東日本ステーションサービス	ロンシール工業株式会社土浦事業所
株式会社筑波銀行	

★ 小論文対策について

今月からいよいよ学校推薦型選抜の入試がスタートします。小論文が課されている人はしっかり対策をして合格を確実なものとしてください。

1. 出題傾向を把握する

志望校については過去5年分くらいを調べ、出題傾向と設問形式(資料分析型、課題文型、ディベート型など)を把握するとともに他大学の同じ系統の学部・学科の問題にも目を通して出題傾向を把握しましょう。

2. 書き方を身につけ頻出キーワードをチェックする

一般に小論文を評価する観点には、①与えられた課題を正確に読み取れているか ②自分の意見を合理的な理由とともに主張できているか ③文章をわかりやすく構成できているか等です。文字数の制限や原稿用紙の使い方が守られていないと採点対象にならないこともあります。文章は簡潔にまとめ、文末は「だ・である」で統一し、問題提起・意見提示・展開・結論の4部構成として文字数は指定の9割以上書くことを心掛けてください。また、その年のニュースに関する新聞の社説や記事、見出しなどからもキーワードをチェックしておきましょう。

3. 書き、添削を受けることを繰り返す

論述する問題・テーマとそれに対する自分の意見をメモし、とにかく書いてみることです。何よりも論述が設問に沿ったものになっていることが大切です。制限時間を意識し、1日1本のペースで書き込んでください。